

遠野市文化財の指定について

【発表の要旨】

『遠野物語』原稿等を遠野市文化財に指定しました。

【発表の内容】

1 経過

『遠野物語』発刊 100 周年を迎えるにあたり、『遠野物語』誕生の礎となった原稿等 2 件を市指定有形文化財に指定するよう、遠野市文化財保護審議会（時田克夫会長、委員 14 名）に諮問。

5 月 20 日（水）に開催された同審議会において市の指定文化財に指定するよう答申。

5 月 26 日（火）に開催された教育委員定例会において議決され 5 月 27 日（水）に告示。

これにより、市内の国、県、市指定文化財は 134 件となる。

2 指定物件

名称	区分等	所有者	指定理由
『遠野物語』原稿及び関連資料 初稿本一（二分冊の一）1 冊 初稿本二（二分冊の二）1 冊 再稿本 1 冊 校正見本刷り 1 冊 校正刷り 1 冊 鉛筆書き資料 1 枚 遠野郷略図 1 枚 附 桐箱 1 点 (7 点)	有形文化財（歴史資料）	遠野市	本件は、明治 43 年（1910）に発刊された柳田國男の『遠野物語』原稿及び関連資料である。桐箱の中に、初稿本 2 冊、再稿本 1 冊、校正見本刷り 1 冊、校正刷り 1 冊、鉛筆書き資料 1 枚、遠野郷略図 1 枚が納められている。それぞれの資料を比較研究することによって『遠野物語』が成立するまでの過程を明らかにすることができる学術的に貴重な資料である。
『遠野物語』初版本第 1 号 (1 冊)	有形文化財（歴史資料）	遠野市	本件は、明治 43 年（1910）に出版された柳田國男の『遠野物語』初版本 350 部のうち、通し番号「第 1 号」である。 『遠野物語』は、日本民俗学の黎明を告げる記念碑的な名著であり、特に「第 1 号」は著者の柳田國男が、話者である佐々木喜善に贈呈したもので、柳田の喜善に対する最大限の評価を示す貴重な資料である。



『遠野物語』原稿及び関連資料の一部



『遠野物語』初版本第 1 号